

## 研究活動における不正行為への対応等に関する説明会 アンケート結果

研究活動における不正行為への対応等に関する説明会のアンケート結果を下記のとおり示す。

### 1. 日程及び開催会場

#### 【京都会場】

日時 : 平成 28 年 6 月 14 日 (火曜日) 13 時 00 分～16 時 00 分

場所 : 京都大学百周年記念ホール

#### 【東京会場】

日時 : 平成 28 年 7 月 4 日 (月曜日) 13 時 00 分～16 時 00 分

場所 : 東京大学安田講堂、伊藤謝恩ホール

### 2. 参加者数およびアンケート回収、参加者属性

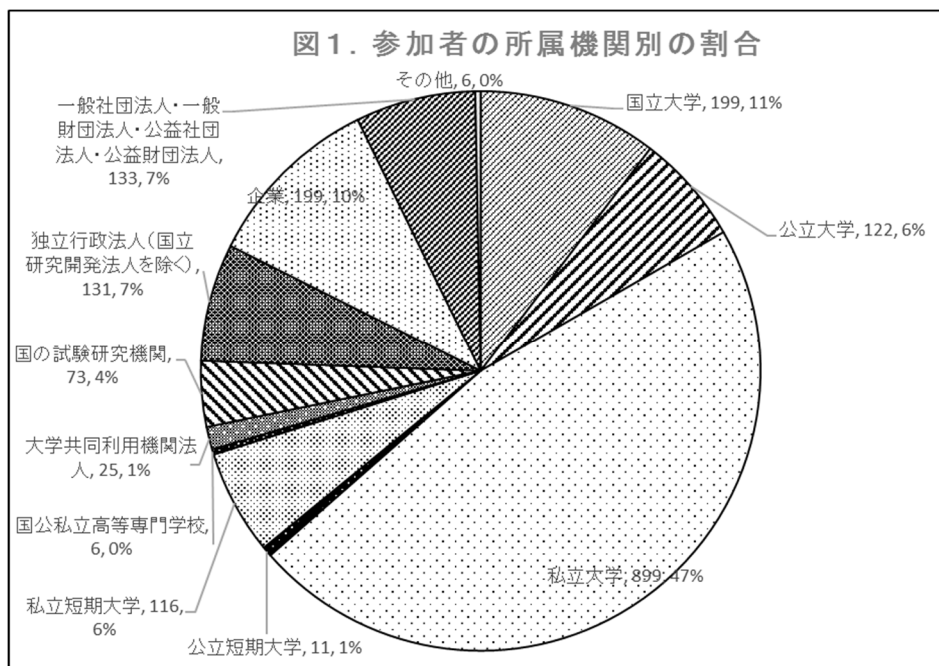
【京都会場】 参加者数 670 名 アンケート回収 455 件 (回収率 67.9%)

【東京会場】 参加者数 1,250 名 アンケート回収 785 件 (回収率 62.8%)

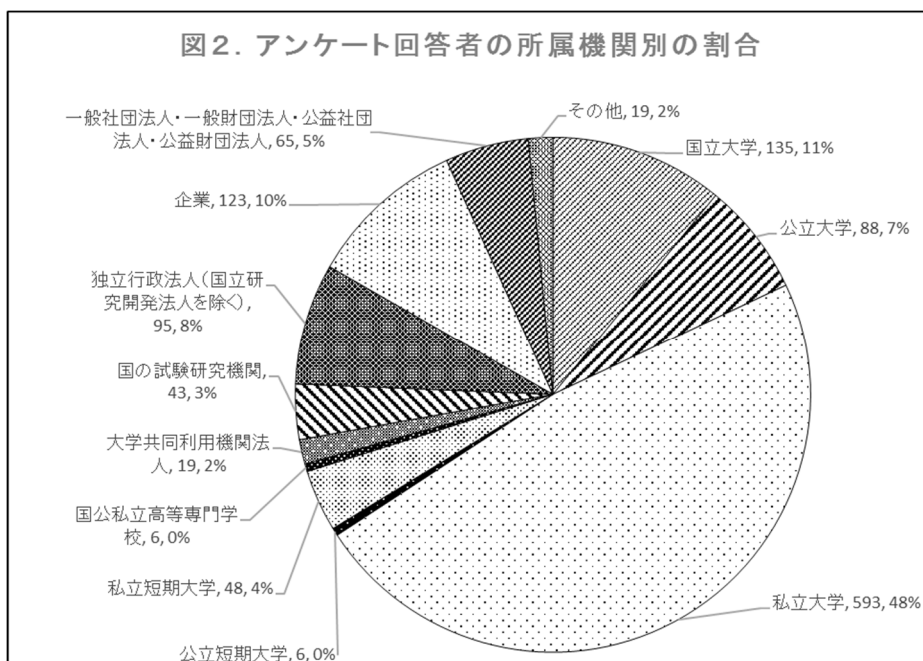
合計 参加者数 1,920 名 アンケート回収 1,240 件 (回収率 64.6%)

### ○参加者の特徴

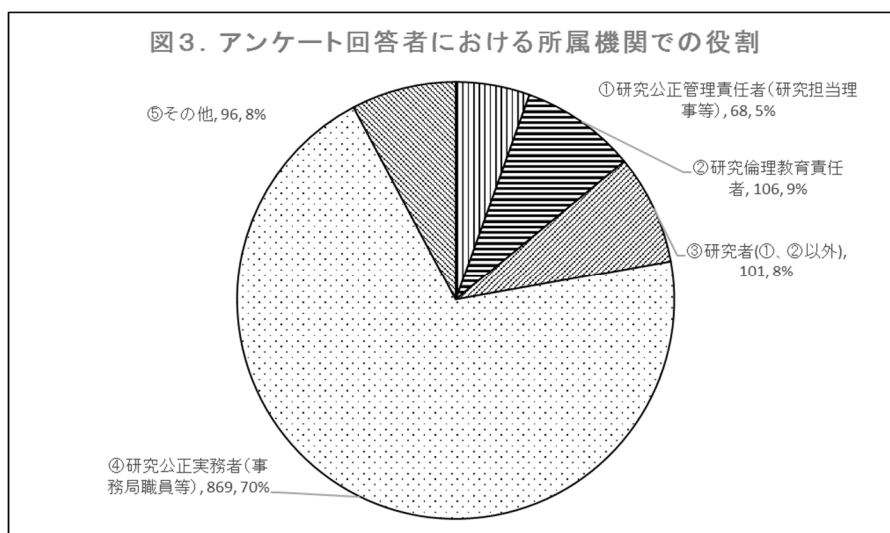
- ・下記の図の通り、京都会場と東京会場の両者を合わせた参加者は私立大学の所属が約 47%と最も多く、国立大学や企業からの参加者が次いで多くなっている。



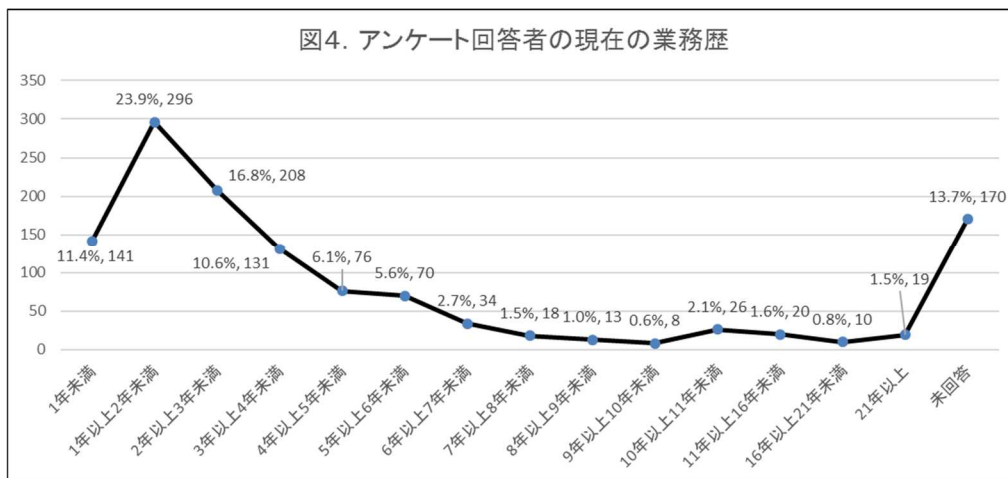
- ・下記の図の通り、アンケートの回答者も「研究活動における不正行為への対応等に関する説明会」参加者と同様に私立大学の所属の方が約48%と最も多く、次に国立大学の所属の方々11%となっている。



- ・下記の図の通り、アンケート回答者における所属機関での役割については、研究公正実務者（事務職員等）が最も多く、約70%になっている。一方、研究公正管理責任者や研究倫理責任者を研究者と仮にみなした場合、約22%になっている。



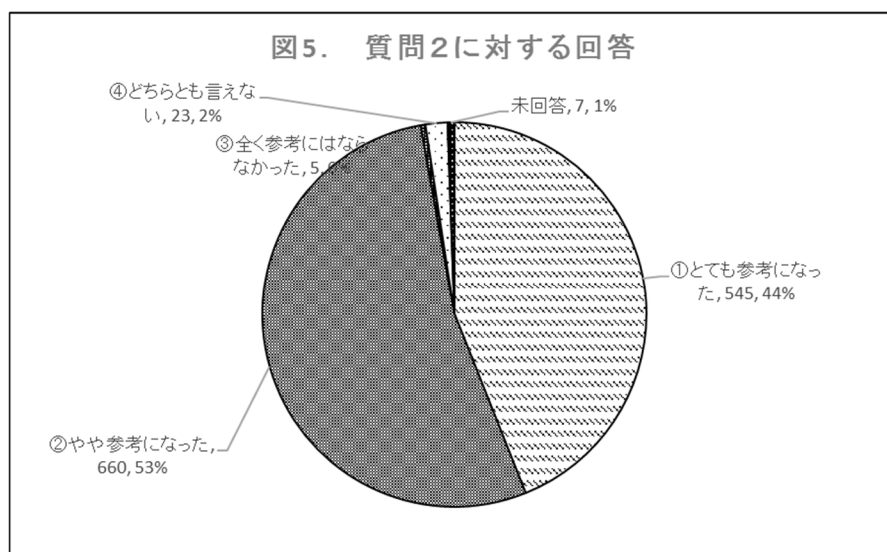
- ・アンケート回答者のうちで3年未満の業務歴の方が約52%となった。また1年以上2年未満の業務歴をピークに業務歴の年数が多くなるにつれて、回答者数が下がっている傾向がある。



### 3. アンケート回答

#### ○質問2

「説明会の内容は、あなたが仕事を進めるうえで参考になりましたか。」との質問に対して、下記の図の通り、参考になったと回答した方が約97%となった。



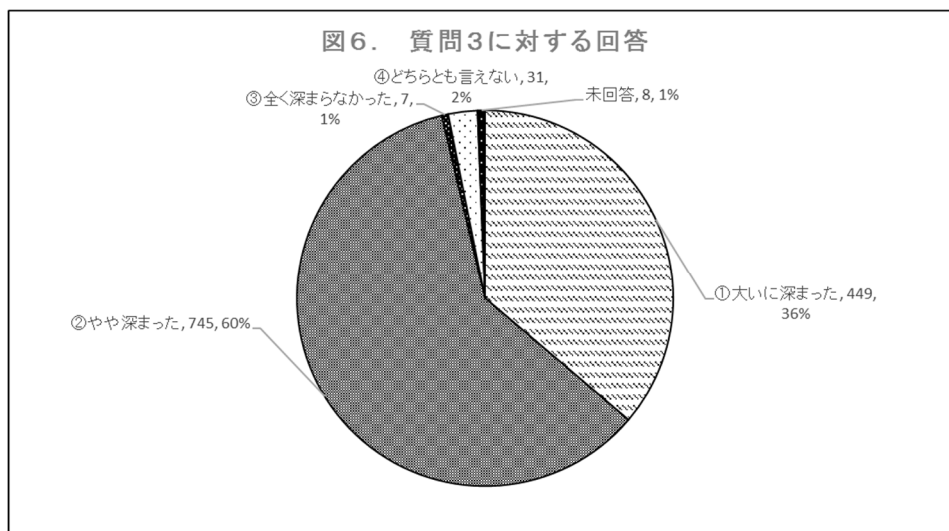
主な意見としては下記の通りである。

- ・公正な研究の推進に関する方向性や取り組み、研究環境の醸成が重要であること、規定改正や組織変更などの改善するポイント等が理解できた。
- ・発表した機関の研究倫理に関する取り組みが大変参考になった。
- ・所属する組織としては（組織の規模、予算の規模、研究分野の違い、民間企業であること等の理由から）参考にならなかった。

- ・講演者の国内外に関する取り組みの発表や文部科学省の履行状況調査の結果の発表が参考になった。

### ○質問3

「公正な研究活動の推進に向けて理解が深まりましたか。」との質問に対して、下記の図の通り、深まったと回答した方の割合は約96%となった。

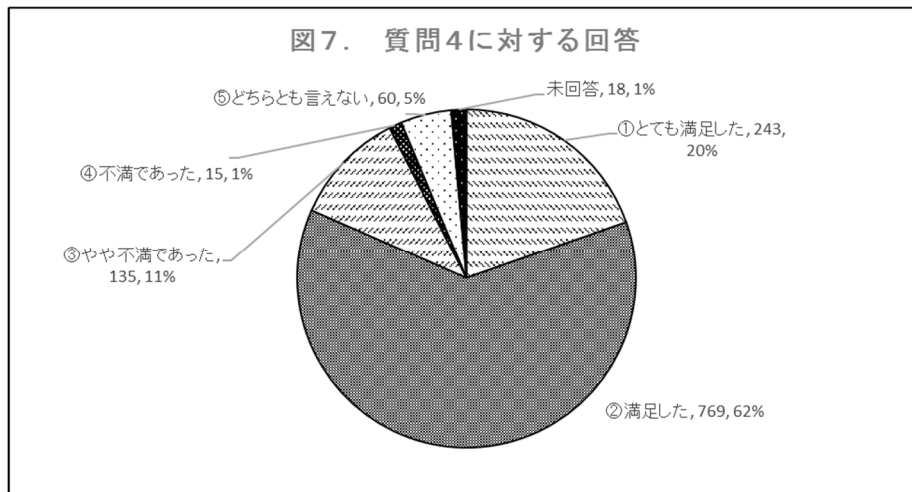


主な意見としては下記の通りである。

- ・自機関で研究倫理や研究公正に取り組むことを求められていることが理解できた。
- ・研究公正に関する考え方や文化を醸成する重要性や研究不正に関する全学的な取り組みの必要性など、さらに理解が深まった。
- ・紹介された大学の事例やわが国の置かれている国際的な現状などの内容について、理解が深まった。

### ○質問4

「説明会の内容には満足しましたか。」という質問に対して、下記の図の通り、満足したと回答した方の割合が約82%となった。一方で、不満であったと回答した方の割合は約12%となった。

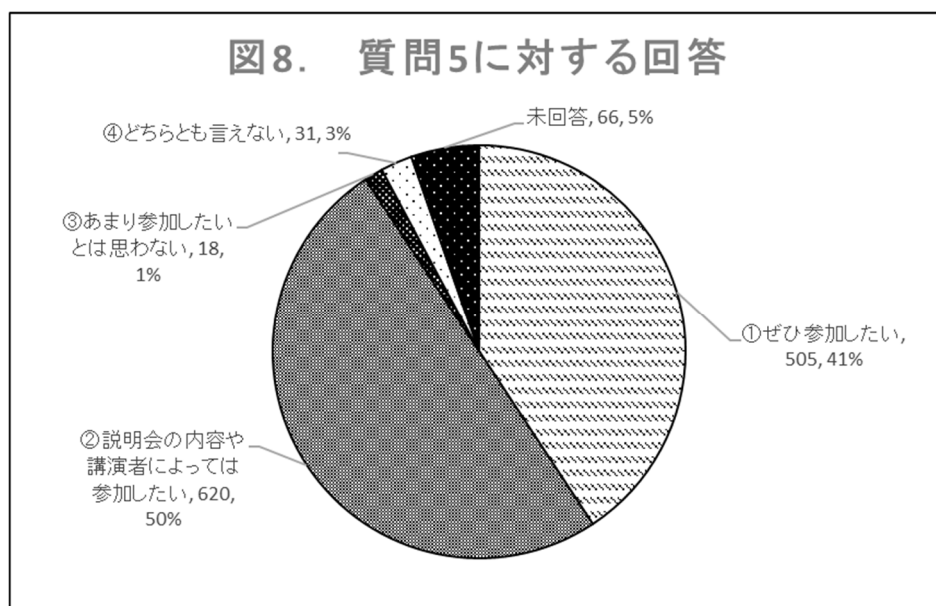


主な意見としては下記の通りである。

- ・大学の事例紹介に満足した。
- ・規模の大学の取り組みの紹介、大学の事例をもっと具体的に紹介してほしい。
- ・内容が分かりやすかった。
- ・講演のトピック等、講演内容に満足している。
- ・(参加者の理解の程度が異なるため、ほぼ全て知っている内容だった、難しかった等の理由から) 満足しなかった。

○質問5

「今後も説明会の機会があれば参加しようと思いませんか。」との質問に対して、下記の図の通り、参加すると回答した方の割合は約91%となった。



主な意見としては下記の通りである。

- ・ 研究公正に関する最新情報を収集したい。
- ・ 研究倫理に関する意識を高めるため、参加したい。
- ・ 研究分野や小規模の機関、民間企業など機関の特性に応じた内容であれば参加したい。
- ・ 意見や自機関の取組に参考になる場合には参加したい。
- ・ 理解している内容のため、参加不要。

#### ○質問6

「説明会において希望する説明内容や講演内容がありましたら、具体的にお書きください。」との質問に対して、主な意見としては下記の通りである。

- ・ 大規模な機関や小規模な機関など規模別の有効な事例
- ・ 理系や文系など分野別の具体的な内容
- ・ 企業の取り組み
- ・ 研究不正の具体的な事例と研究不正に対する調査の詳細な内容
- ・ 研究者や学生に対する効果的な研究倫理教育の具体例の内容

#### ○質問7

「会場、実施時期、実施時間等について、ご意見・ご要望等がありましたら、具体的にお書きください。」との質問に対して、主な意見は下記の通りである。

- ・ 概ね妥当。
- ・ 東京や京都以外での地方での開催、又は複数回の開催してほしい
- ・ 会場について、より広い場所で行ってほしい
- ・ 時期について、年度当初に開催してほしい
- ・ 説明会の時間について（短くしてほしい、長くしてほしいが両方あった。）。

#### ○質問8

「その他、説明会全般に関するご意見・ご要望がありましたら、具体的にお書きください。」との質問に対して、主な意見は下記の通りである。

- ・ 会場を机がある広いスペースにしてほしい。
- ・ 資料のHP公開、動画のネット配信など内容共有してほしい。
- ・ 各テーマの時間が短かった、もう少しじっくり聞けた方がよい。

#### ○質問9

「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインを含めた研究公正活動全般に関して、ご意見・ご要望がありましたら、具体的にお書きください。」との質問に対して、主な意見は下記の通りである。

- ・ 小規模機関や中小企業に取り入れやすい事例、規程等の例を教えてください。
- ・ 参考になったので定期的に開催してほしい。
- ・ 研究倫理教育教材を自主開発できないので、研究者向けだけではなく、学部生レベルのものも含め、様々な分野のものを無料で公開してほしい。
- ・ 学振 e-Learning (eLCoRE) についても説明してほしい。

以上